

ハイキング部だより



第227回

令和5年(2023年)2月4日(土)～東大阪を歩く

コース:近鉄けいはんな線・荒本駅～東大阪市役所展望ロビー～諏訪神社～吉原地蔵石仏～古箕輪八幡宮～栗原神社～緩衝緑地公園～中甚兵衛記念碑～川中邸屋敷林～吉田駅(約7キロ)

参加者 18名

2月4日(土)第227回ハイキングを実施。今回はNHK朝ドラで話題になっている東大阪を歩くことにしました。晴、寒くなく風もない歩きやすい天候になりました。参加者18名。

10時近鉄「荒本駅」をスタート、先ず東大阪市役所を目指して歩きました。地上100メートル22階展望ロビーからは360度のパノラマが眺められ、西の方にあべのハルカスや大阪のビル街が、北には生駒山が見えました。しばらく眺望を楽しんだあと街の中を阪神高速に沿って歩き諏訪神社、吉原地蔵石仏、古箕輪八幡宮に寄り12時前に栗原神社に到着ここで昼食にしました。

食後13時にスタートし緩衝緑地公園へ、緑地公園は産業公害を防止、緩和し生活環境の改善を目的に居住地域と工業地域との間に設置された緑地公園です。次に川中邸屋敷林へ、屋敷林は防風、防火の役割のほか燃料や堆肥の供給源として江戸時代から存続しており5000平方メートルが大阪市の緑地保全地区の第1号に指定されました。所有者の川中さんの承諾を得て敷地の中を見せられました。最後に中甚兵衛記念碑へ、中さんは河内平野を流れて度々水害をひきおこしていた大和川の流れを柏原から真っすぐ西に付け替えるよう50年近く幕府に訴え続け実現に尽力した人物です。石碑をバックに写真を撮り「吉田駅」まで歩きここで2時半ごろ解散しました。



中甚兵衛記念碑をバックに



東大阪市役所



中甚兵衛記念碑をバックに



地上100メートル22階展望ロビー



展望ロビーからの眺望



展望ロビーからの眺望



展望ロビーに展示



展望ロビーに展示



展望ロビーからの眺望



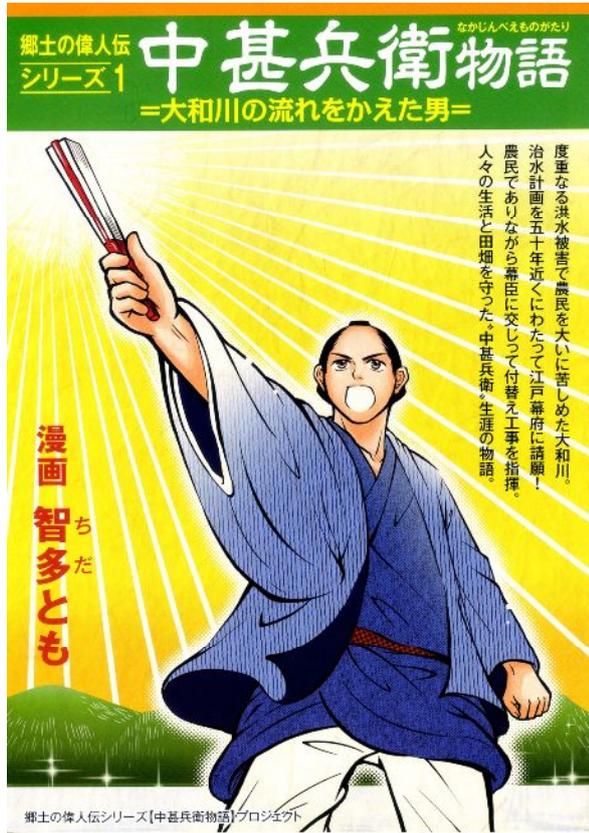
諏訪神社



吉原地蔵石仏



古箕輪八幡宮



中甚兵衛は、江戸時代の前期に今米町の庄屋の家に生まれ、現在、田原市から南の方へ流れている大和川は、もとは船原から所内まで長瀬川、玉串川などの支流に分かれて流れて、沼とりなど洪水が続き、河内平野の人々の生活を苦しめていました。こうした大和川の惨状を鑑み、洪水から川原野辺の村々を救済しようと立ち上がったのでした。川の通割の結果、豊作を期して大川の治水工事を実施させた。寛政2年（1790）、川の石橋工事が行われ、その功績により幕府より昌平将軍が賞状を、巴郡長瀬に褒め状を下した。



郷土の偉人伝シリーズ【中甚兵衛物語】プロジェクト
発行団体：NPO法人地域情報支援ネット
今米緑地保全会
一般社団法人河内観光局
参考価格：200円（税別）



舞札の図（舞行軸）
中次 / 万年長十郎・下 / 中甚兵衛



河内編



栗原神社



栗原神社



栗原神社の広場で昼食



緩衝緑地公園



緩衝緑地公園



川中邸屋敷林散策



川中邸屋敷林



川中邸屋敷



中甚兵衛記念碑

第227回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 東大阪を歩く ～

日 時:令和5年2月4日(土) 10時 近鉄けいはんな線「荒本駅」集合

コース:荒本駅～東大阪市役所展望ロビー～諏訪神社～吉原地蔵石仏～
古箕輪八幡宮～栗原神社～緩衝緑地公園～中甚兵衛記念碑～
川中邸屋敷林～吉田駅(約7キロ)

今回は、朝ドラで話題の東大阪を歩きます。東大阪市役所展望ロビー(22階)は2003年6月に完成、東大阪新都心地区のランドマークで地上100mの高さから360度大阪の街を無料で鑑賞でき、天気が良く空気が澄んでいる日には遠く淡路島を見ることが出来ます。

吉原地蔵石仏は、市内で最も大きい石仏で高さ2m室町時代初期の石造彫刻と考えられています。中甚兵衛は、河内平野を流れ度々水害を引き起こす大和川の流れを柏原から真っすぐ西に付け替えするよう50年近く訴え続け実現に尽力した人物です。緩衝緑地公園は、大気汚染、水質汚濁などによる産業公害を防止、地域の生活環境の改善を図ることを目的に、住居地域と工業地域との間に設置された緑地公園です。6つの公園で構成され南北に長い造りとなっています。

